



雪華乱舞

山 域：氷ノ山  
 場 所：兵庫県  
 日 時：2005/03/26-27  
 コ ー ス：流れ尾根-ブン回し  
 天 候：晴れ・曇り・晴れ  
 メンバー：大塚・大本



モンスター

三月後半の降雪に翻弄された氷ノ山

さまざまな雪に巡り合わせてくれた氷ノ山に感謝！



千本杉



北壁のドラゴン



三ノ丸稜線



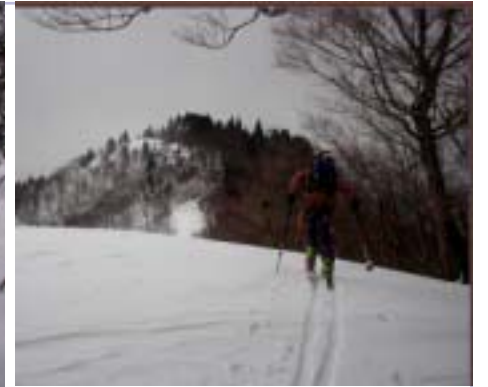
1. 登行リフトPからゲレンデへ



2. ゲレンデを登る



3. ゲレンデから杉林へ



5. 流れ尾根稜線へ



4. 流れ尾根の雪壁を攀じる

こ  
GWの北アルプス装備変更のトレーニングを兼ねていつもブン回しを試みるのだが、今回は登りで実際に四時間もかかるラッセルのスキー登山で疲れてしまった。

特に流れ尾根取り付きは二m以上の雪壁に四苦八苦して雪だるまになってしまい、最後の北壁トラバースもいつもならアイゼンでそのまま登れるのだが、厳冬期を思わす大雪に時には腰までの壺足となるのでシールに装備変更した。



7. 急登が続く



6. アイゼンに変更



8. 北壁トラバース



9. 北壁でシールに変更



10. 四時間かけてやっと山頂小屋へ



11. 山頂付近は雪煙舞い上がる



12. 三ノ丸方面



13. 南斜面のダイヤモンドコースへ

滑降バーンも南斜面も北斜面もパウダーならず重雪、湿雪でスキーを走らすのに大苦勞であった。

しかし山頂付近や三ノ丸稜線は霧氷の雪華乱舞と樹氷のモンスターに見舞われ、まるで厳冬期さながらの光景は素晴らしい限りであった。

予報では2日とも晴れだったが26日は晴れたり曇ったりで終始北西からの強風が吹き荒れていた。



14. モンスター街道



16. 北壁も超重雪

山頂小屋には若桜側からの登山客や山スキーヤー、ボーダーが10人ほどいたが、この雪ではワサビ谷はとても無理だと言って来た道を帰っていった。またいつもこの時期に雪中キャンプをする高校生グループが千本杉辺りでカラフルなテントを張って楽しんでた。



17. カラフルなテント村



18. 甌岩直下へ



19. 稜線トラバースをするがグサグサ雪で撤退



20. 赤倉山へ

27日は、50才の誕生日とあって昨夜の冷え込みの雪に期待してブツ回しに行くが、雪質は昨日と同じく全くスキー滑降に不向きで大変に難儀してしまった。いつもならこの時期はシールは付けずに大久保まで頑張るのだが、氷ノ山越えからは終始シールで行動していた。

何はともあれ、3月後半にさまざまな雪に巡り合わせてくれた氷ノ山に感謝である。



20. 天狗岩への直登



22. 山頂からの軌跡



23. 初めて大久保まで滑れた